

伏見市長の所信表明（抜粋）

今後4年間の取り組み方針

（1）「魅力で人をつなぐ」まちづくり

今住んでいる人たちが「住んでよかった」と感じ、夢を持つ人が集まるまちとなるよう、魅力向上に向けた取り組みを着実に具体化する。

（2）「安心で人をまもる」まちづくり

自然災害や犯罪、事故だけでなく、健康や暮らしなど、不安を感じるさまざまな問題に対するセーフティネットの構築に向けて取り組む。

（3）「改革で人を支える」まちづくり

既成の枠にとらわれない業務の効率化等を進め、これまで以上に財源を生み出す努力を行う。また、使途も含めた「『見える』行政改革」を進める。

8つの分野の重点施策

（1）子育て環境の充実

- ▶小・中学校の余裕教室等を活用した「待機児童用保育室」の整備など、新たな手法で通年の待機児童ゼロを実現する。
- ▶子ども医療費への支援策の充実を検討するとともに、本市独自の第2子以降の保育料無償化を実現する。
- ▶留守家庭児童会室や放課後自習教室を再編・拡充し、土曜日や三季休業期の利用ニーズにも応える。
- ▶全ての子どもの権利が保障される地域社会の構築に向け、「（仮称）子どもを守る条例」を制定する。

（2）教育環境の充実

- ▶子どもの可能性を最大限に伸ばすため、新たな「枚方市教育大綱」を策定する。
- ▶情報化社会の進展を踏まえ、中学生全員に1人1台のタブレット型パソコンを段階的に導入する。
- ▶いじめ問題について、SNSの活用や弁護士、臨床心理士などを含めた体制の整備を図る。
- ▶中学校の全員給食を実現する。
- ▶全校校園のトイレを令和5年度までに洋式化する。

（3）魅力ある都市基盤の整備

- ▶市駅周辺では、令和3年度に総合文化芸術センターをオープンする。また、③街区の市街地再開発事業について、ホテルや住居、商業、行政など多様な都市機能の集積を目指し、国・府等と連携、協力しながら取り組みを進める。
- ▶新名神高速道路のアクセス道路の早期完成に向けて関係機関に働きかけるとともに、周辺市道を改良する。
- ▶令和2年度に香里ヶ丘図書館をリニューアルオープンし、香里ヶ丘地区の魅力向上を図る。
- ▶王仁公園については、パークマネジメントの考え方を取り入れ、民間活力の活用を含め、今後のあり方について検討を進める。
- ▶鉄道駅、バス停までのアクセスが不便な地域の移動支援策として、地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムのモデル事業の構築などに取り組む。

（4）産業・観光の活性化

- ▶枚方宿でにぎわう五六市や淀川舟運等の地域資源を活用し、国・他自治体と連携した取り組みなどを通じて地域活性化を図る。
- ▶国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）を初め、市内のものづくり企業や大阪工業大学等の教育機関、金融機関等と連携し、地域経済の活性化策を検討する。
- ▶都市農業を推進するため、府内唯一となる農学部を開設する摂南大学と連携する。
- ▶東部地域の特性を生かした産業振興策を検討する。

（5）安全・安心のまちづくり

- ▶平成30年の大阪北部地震や台風21号などの教訓を生かし、「公助」が担うべき役割の検討や地域が担う「共助」の推進に向けた「地区防災計画」の策定を支援する。
- ▶災害時における避難行動を支援し、減災を図る観点から防災アプリの導入に取り組む。
- ▶高齢ドライバーによる事故を防止する観点から、後づけの急発進防止装置設置への助成に取り組む。
- ▶防犯カメラを増設し、犯罪の抑止効果を高める。

（6）健康・福祉のまちづくり

- ▶ひらかたポイント制度を活用し、健康・長寿・子育て施策の推進に取り組む。
- ▶「終活」への支援として、個人の意思が尊重される仕組みやセミナーの開催等の取り組みを検討する。
- ▶大阪精神医療センターと連携して認知症予防プログラムを実施するなど、「認知症にやさしい地域づくり」に向けて取り組む。
- ▶手話への理解促進及び手話の普及のため、「（仮称）手話言語条例」を制定する。

（7）多様な生活・社会の課題解決に取り組むまちづくり

- ▶本市の施策展開において目指すべき目標をSDGsの目標と関連づける取り組みを行う。
- ▶LGBTなど性的マイノリティーの支援について、当事者の意見を尊重しながら取り組みを推進する。
- ▶空き家を活用した起業支援や子育て世帯誘導策などについて、補助制度の創設を含め検討する。
- ▶「ダブルケア」、「8050問題」といった複合的な生活課題へ対応する総合的な支援体制を構築する。

（8）行財政改革

- ▶AI（人工知能）やICTを活用し、業務の効率化と市民サービスの向上を図る「スマート自治体」の実現などに取り組む。
- ▶市立ひらかた病院の経営健全化に向けて取り組むとともに、経営のあり方を検証する。
- ▶外郭団体の経営健全化を推進するとともに、行政の支援のあり方を見直す。



2・3面用語の解説



※1 街区：市駅周辺再整備においては、市駅周辺を5つの街区に分けた上で、現在、それぞれの特性に応じ、再整備の検討を進めている。各街区の位置については左図参照。



市駅周辺再整備検討街区

※2 S D G s (Sustainable Development Goals)：国連が2030年度までに達成することを掲げた持続可能な開発目標のこと。

※3 子どもの権利条約（子どもの権利に関する条約）：子どもの基本的な人権を国際的に保障するための条約で、1989年の国連総会で採択され、1990年に発効。我が国は1994年に批准した。

※4 地域医療支援病院：患者に身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、平成9年の医療法改正において創設された制度で、紹介患者に対する医療提供や、医療機器等の共同利用の実施などに関し一定の要件を満たす病院に対し、都道府県知事が個別に承認する。平成30年9月現在、全国で586病院が承認を受けている。

より大きな視点を持ち 魅力あるまちづくりを

自由民主党 議員団

田 口 敬 規
前 田 富 枝
長 友 克 由
加 藤 治



田口敬規

市議 市立ひらかた病院へより魅力あるものとする取り組みは積極的に進める必要がある。大きな視点でのまちづくりについては、市議会や経済団体など多くの関係者と意見交換を行い、未来の枚方を共有しながら取り組みを進めていきたい。



市立ひらかた病院

市立ひらかた病院については、経営健全化に向けた取り組みを進めるとともに、経営のあり方についても検証を行うという。外部コンサルタントの導入等により同院の

経営は一定改善したものの、引き続き厳しい状況であるため、危機意識を持って取り組みが必要だと考えるが、同院の経営のあり方をどのように検証していくのか。

なお、同院は地域医療支援病院を目指していたが、承認のハードルが高過ぎるため、市長も機会を捉え、国に要件緩和を訴えるよう要望する。

答 令和2年度に予定されている診療報酬改定のほか、国の地域医療構想に関する議論が行われる中、府の構想との整合を図る必要もあると考えているが、将来にわたって地域や市民のために必要不可欠の医療を提供していく観点から、市立病院の最速なあり方について多角的に検証する。

◆今後の施策展開に財源等の裏づけを

【質問】今後4年間の取り組み方針に「さらなる改革、そして成長へ」とあるが、人口減少などが進む状況を見ると、今の枚方には成長という言葉がふさわしくない印象がある。1期目の市政を経て、どこが成長しているのか。また、今後どのように成長させるのか。なお、所信表明に掲げた施策を全て実現すると莫大な財源が必要になるが、4年後、財源がなく施策が実施できなかったというのではないよう、また、施策の優先順位が市長の思いだけで変わることはないよう、しっかりとした裏づけが必要と意見しておく。

答 1期目の市政において、20年後、30年後の未来を見据えながら、人が集まるまちづくりなど、本市の魅力を高める取り組みを進めてきた。2期目においても、さらなる行財政改革を進めながら財源を生み出して経済を活性化し、都市の魅力を高めていくという成長につながるサイクルを定着させていくことで、より多くの人に選ばれる魅力あるまちを表現していきたい。



枚方市駅周辺（市街地再開発事業が行われる③街区の一部）

【質問】今後の施策展開に財源等の裏づけを

【質問】今後4年間の取り組み方針に「さらなる改革、そして成長へ」とあるが、人口減少などが進む状況を見ると、今の枚方には成長という言葉がふさわしくない印象がある。1期目の市政を経て、どこが成長しているのか。また、今後どのように成長させるのか。なお、所信表明に掲げた施策を全て実現すると莫大な財源が必要になるが、4年後、財源がなく施策が実施できなかったというのではないよう、また、施策の優先順位が市長の思いだけで変わることはないよう、しっかりとした裏づけが必要と意見しておく。

【質問】今後の施策展開に財源等の裏づけを

【質問】今後4年間の取り組み方針に「さらなる改革、そして成長へ」とあるが、人口減少などが進む状況を見ると、今の枚方には成長という言葉がふさわしくない印象がある。1期目の市政を経て、どこが成長しているのか。また、今後どのように成長させるのか。なお、所信表明に掲げた施策を全て実現すると莫大な財源が必要になるが、4年後、財源がなく施策が実施できなかったというのではないよう、また、施策の優先順位が市長の思いだけで変わることはないよう、しっかりとした裏づけが必要と意見しておく。

市駅周辺再整備は白紙に戻し 新庁舎の機能等の検討を

日本共産党 議員団

広 瀬 ひとみ
野 口 光 男
堤 幸 子
松 岡 ちひろ



野口光男

市議 市駅周辺再整備については、他の街区に先駆けて③街区の市街地再開発事業の着手に向け取り組みを進めるとい

【質問】市駅周辺再整備については、他の街区に先駆けて③街区の市街地再開発事業の着手に向け取り組みを進めるとい

【質問】市駅周辺再整備については、他の街区に先駆けて③街区の市街地再開発事業の着手に向け取り組みを進めるとい

【質問】市駅周辺再整備については、他の街区に先駆けて③街区の市街地再開発事業の着手に向け取り組みを進めるとい

【質問】市駅周辺再整備については、他の街区に先駆けて③街区の市街地再開発事業の着手に向け取り組みを進めるとい

交通を充実してほしいという声は大きいと感じる。交通不便地域の移動支援策として、地域支援・自主運行型コミュニティ交通システムについて、地域との協働によるモデル事業の構築などに取り組むというが、まずは市としてニーズ調査を実施すべきではないか。

なお、交通不便地域の移動支援策を即効性のあるものにするため、我が会派では、これまで一貫して市営のコミュニティバスを導入するよう訴えてきた。市長は「選ばれるまち」になるという方針を打ち出しているが、府内ではコミュニティバスを走らせている市町村が多数ある。こうしたことを認識した上で、コミュニティバスの導入を検討するよう要望する。

詳しい内容は会議録で

9月定例会議会の会議録は、12月上旬にできる予定です。会議録は市議会図書室や各市立図書館などでご覧いただけます。

また、市議会ホームページの「会議録検索」ページから検索・閲覧することができます。



会議録検索はこちら

本会議の生中継を実施しています

枚方市議会では、インターネットによる本会議の生中継を行っています。本会議開催中は、市議会ホームページの「本会議生中継」からごらんいただけます。

また、本会議終了後は、「録画映像」の配信を行っています（2面右上のQRコードからごらんいただけます）。

※本会議は基本的に午前10時から開催されます。詳細はお問い合わせください。



平成30年度

決算特別委員会を開催

議会は、9月30日の本会議で、決算特別委員会を設置し、平成30年度決算関連案件を同委員会に付託しました。同委員会は、10月21日・24日・25日・28日・29日の日程で開催され、審査の結果、全ての案件を認定・原案可決すべきものと決しました。なお、詳しい内容は、次号でお知らせします。

決算特別委員会委員

山 藤 田 門 妹 泉 漆 広 松 長 田	【委員長】 有 山 正 信
口 田 中 川 尾 原 瀬 岡 友 口	【副委員長】 中 武 貞 勝
幸 優 紘 正 大 周 ち 克 敬	
勤 久 子 幸 信 介 義 由 規	

市議会事務局

TEL 072-841-1528 | FAX 072-841-0240